

会派 至誠 福崎 和士 議員

1 鹿屋市の財政について

- (1) コロナ禍での財政運営について、当初予算との比較及び歳入歳出の今後の見通しを示されたい。
また、いつ終息するか分からないコロナ禍において、今後の財政状況を踏まえ、市財政をどのように運営していくのか、基本的スタンスを示されたい。
- (2) 財政規律と市民活動に対する財源確保について、見解を示されたい。

2 教育現場における安全対策について

- (1) 本年6月28日千葉県八街市^{やちまたし}において下校途中の小学生が交通事故に遭ったことを受けて「通学路の総点検」を行う指示が首相から出たが、本市の点検結果と今後の対策を示されたい。
また、吹き抜けのある学校の現状とこれに関わる施設内安全対策を示されたい。

3 行政デジタルトランスフォーメーション（DX）について

- (1) デジタル庁創設により、自治体もデジタル社会に必要なインフラを整備していく上で、防災・観光・教育の観点から、誰一人取り残さないためにWi-Fiステーションを設置すべきと考えるが、見解を示されたい。

4 市民生活の安全安心について

- (1) 昨今の異常気象により頻繁に起こりうる災害や熱中症から市民及び児童生徒を守るため、小中学校体育館の空調整備を行うべきと考えるが、見解を示されたい。
- (2) 鹿屋市総合アプリかのやライフに防災機能を充実すべきと考えるが、見解を示されたい。

会派 至誠 福崎 和士 議員

5 脱炭素社会に向けた取組について

- (1) 2050年までのカーボンニュートラル達成に向け、「鹿屋市ゼロカーボンシティ宣言」をいつ行うのか。
- (2) 本市だけでなく、近隣の市・町を含む大隅全体で取り組むことで脱炭素社会の早期実現が可能だと考えるが、見解を示されたい。

6 人権を尊重する社会の形成について

- (1) 市民の誰もが自己の意思と責任により、多様な生き方が選択できる社会の実現を目指し、鹿屋市パートナーシップ宣誓制度を取り入れるべきと考えるが、見解を示されたい。

7 持続可能な開発目標について

- (1) 持続可能な開発目標（SDGs）として「住み続けられるまちづくり」、「パートナーシップ」から地域猫活動を推奨すべきと考えるが、見解を示されたい。